

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-2 自然とのふれあいの推進
---------	------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

自然環境課長 齋藤 晃大

電話番号

0852-22-5346

事務事業の名称	中国自然歩道管理事業
目的	(1) 対象 中国自然歩道の利用者数  (2) 意図 安全で快適な利用の確保を図る。
事業概要	中国自然歩道における県所管施設の維持修繕を行う一方、自然災害などによる倒木・落石などの処理を行い、安心・安全な利用が出来るよう維持管理を実施する。また、危険箇所については、通行止などの対応により、利用者の安全確保に努める。また、パンフレットの配布、県ホームページや県広報の活用により積極的なPR活動を実施する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	中国自然歩道の利用者数	目標値	450.0	450.0	450.0	450.0	千人
			取組目標値	552.0	552.0	552.0	552.0	
	式・定義	中国自然歩道の利用者数	実績値	552.0				
			達成率	-				
2	指標名		目標値					
			取組目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	22,781	61,015
うち一般財源 (千円)	11,611	7,692

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・H25年度（488千人）、H26年度（551千人）、H27年度（552千人）と3年連続で目標値を上回っている状況。一方H28年度は、災害発生により通行止の箇所も増加し、利用者の減少要素があるためH27年度実績値を上限として、取組み目標値を再設定する。  
 ・中国自然歩道における県所管施設の維持修繕を行う一方、危険箇所については、通行止などの対応により、利用者の安全確保に努めた。また、パンフレットの配布、県ホームページや県広報の活用により積極的にPR活動を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

参考指標としている利用者数も目標を達成した。危険な箇所は、通行止めをすることにより、中国自然歩道の安全性の確保は図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
利用者や自然保護レンジャーから、施設の破損や不具合、自然災害による倒木・落石など苦情・連絡が多い。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
過去に整備した施設の老朽化が進んでいる。自然災害による倒木・落石などが多数発生している。
- ③原因を解消するための「課題」  
○古い施設が多い  
○施設修繕や倒木・落石などの処理に対する予算、体制が十分でないことから、復旧できていない箇所があり、利用者の要望に応えることが出来ていない。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

○老朽化の状況や利用頻度等から判断し、緊急度の高い箇所から修繕を進める。  
 ○老朽化の状況や利用頻度等から判断し、不要な施設は撤去又は地元市町村へ譲渡する。  
 ○利用者や自然保護レンジャーによる整備を支援する。  
 ○通行止め等の復旧予算や、倒木などが発生しないよう予防処理（対策）を行う予算を確保し、安心・安全な利用ができるように整備に努める。

9. 追加評価（任意記載）